

呼吸器・アレルギー医療センター《基本情報》

項目(指標)	数値	収集期間	定義	備考
【入 院】				
稼動病床数	540 床	平成20年度		実際に使用している入院ベッドの数です
新入院患者数	7,096 人	平成20年度		1年間に入院された患者さんの数です
延べ入院患者数	151,586 人	平成20年度		入院された患者さんの数の1年間の累計です
1日平均入院患者数	415 人	平成20年度	延べ入院患者数/365	1日平均、何人の患者さんが入院されているかを示しています
退院患者数	7,109 人	平成20年度	期間中の退院患者数	1年間に退院された患者さんの数です
年齢階層別退院患者数		平成20年度	※退院時点の年齢で集計	退院患者さんの年齢の特徴を示しています
主要疾患別患者数		平成20年度	※原則としてICD3桁分類の上位20疾患とする	
疾病分類別患者数(※1)	別紙1参照	平成20年度		主にどのような病気を扱う病院かを示しています
診療圏別入院患者数		平成20年度	府下を11ブロックに分けて集計	どの地域から、どのような病気で受診されているかを示しています
病床利用率 (全体)	76.9	平成20年度		病床数に対して、どれだけの患者さんが利用したかを表し、1年間に平均してどれだけベッドを利用したかを示しています
(一般)	77.8 %	平成20年度		
(結核)	72.8	平成20年度		
平均在院日数 (全体)	19.6	平成20年度	延べ患者数-退院患者数+1日入院数/(新入院患者数+退院患者数)÷2	急性疾患を取り扱うのか、慢性疾患を取り扱うのか、病院の特徴を示します。慢性疾患の患者さんが多いと在院日数が長くなります
(一般)	16.9 日	平成20年度		
(結核)	67.0	平成20年度		
病床回転率 (全体)	14.3	平成20年度	(病床利用率/100)×365/平均在院日数	空きベッドの数も考慮して計算された、入院ベッドの利用効率を示します。慢性疾患の患者さんが多いと回転率は下がります
(一般)	16.8 回	平成20年度		
(結核)	4.0	平成20年度		
入院外来比率	106.9 %	平成20年度	延べ外来患者数/延べ入院患者数×100	入院加療を中心とする病院か、外来診療を中心とする病院かという特徴を示します
退院患者中の褥瘡(Ⅱ度以上)の院内発生率	0.83 %	平成20年度	てNPUAPの分類にてStageⅡ以上、もしくはDESIGN評価表にてd2以上の褥瘡を有する患者数(分子)/計測期間内に退院した患者のうち入院時褥瘡評価で褥瘡のない75歳以上(退院時年齢)の患者数(分母)	75歳以上の入院患者のうち、一定以上の褥瘡(床ずれ)が発生した割合を示します。
退院計画立案率	74.2 %	平成20年度	退院計画立案案件数/期間中の退院患者数(新生児、宿泊ドック、死亡者を除く)	退院後に必要な保健・医療又は福祉サービスに記載した療養計画を作成した割合を示します。
退院サマリー完成率	82.1 %	平成20年度	担当医が2週間以内にサマリーを記載した件数/退院した患者数	入院中の経過など、医療内容のエッセンスの記録(退院サマリー)を2週間以内に記載した割合を示します。
【外 来】				
新外来患者数	10,645 人	平成20年度	初診料を算定した外来患者数+他科の初診患者数(入院中の外来初診を含む)	新に外来受診された患者さんの数です
延べ外来患者数	162,100 人	平成20年度		外来受診された患者さんの数の1年間の累計です
平均通院回数	15.2 日	平成20年度	延べ外来患者数/新外来患者数	ひとりの患者さんが1年間に何回通院されたかを示しています
1日平均外来患者数	667.1 人	平成20年度	延べ外来患者数/診療日数	1日に平均何人、受診されたかを示しています
紹介率	53.8 %	平成20年度		外来患者さんのうち、紹介されてこられる方の割合です。普段のかかりつけというような一次医療が中心か、専門的な病院かを示します
逆紹介率	45.8 %	平成20年度		逆にこの病院から他病院への紹介の割合です
救急車搬送患者数救	751 人	平成20年度	・救急車で搬送された全ての患者で再診患者、外泊患者等を含む。 ・医療機関に所属する救急自動車(ドクターカー:自院、他院を含む。)で搬送された患者も含む。	救急車で搬送された患者さんの数です
初診予約率	- %	平成20年度	予約があった初診患者数/初診患者数	外来の予約制がどの程度浸透しているかを示します

【死 亡】

死亡退院数	357 人	平成20年度		当センターで一年間に死亡された患者さんの数です
粗死亡率	5.0 %	平成20年度	死亡患者数／退院患者数	当センターに入院した患者さんの死亡の割合です。高度な医療を提供する病院では重症の患者さんを取り扱うことも多いので、この数字は高くなります
精死亡率	- %	平成20年度	全死亡患者数－入院後48時間以内死亡／退院患者数	入院して48時間以内の死亡は、病院内での診療を反映しないことも多いので、この死亡を除いた上での死亡率です。しかしながら、上記と同様に、高度な医療を提供する病院では重症の患者さんが増え、死亡率が高くなる傾向もあるため、必ずしも病院の診療レベルは反映しません
剖検数	13 件	平成20年度		「剖検」とは病理学的な解剖のことで、死亡した患者さんの死亡原因を詳しく調べる検査です。剖検数が多い病院は死亡原因解明のためにしっかりと取り組んでいるということも示しますが、ご遺族にとって複雑な思いを喚起させる検査でもあり、解釈には注意が必要です
剖検率	3.6 %	平成20年度	「日本内科学会認定医制度認定教育施設＝剖検数3例以上」 ・剖検数/死亡退院患者数×100	

【手 術】

施設基準に掲げる手術件数(※2)	283 件	平成20年	医科点数表第2表第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術の件数(平成20年1月から12月までの件数)	難易度及び診療報酬上の点数単価が高い手術について、1年間に実施した件数です。
入院手術件数	1,202 件	平成20年度		1日以上入院して実施された手術の件数です
日帰り手術患者数	18 件	平成20年度	※ここでの日帰り手術患者数は、入院基本料を算定しており、手術施行した患者で在院日数1日の患者数をいう。	日帰りで実施された手術の件数です
全身麻酔件数	531 件	平成20年度		
硬膜外併用脊髄くも膜下麻酔	78 件	平成20年度		
硬膜外麻酔	353 件	平成20年度		
脊髄くも膜下麻酔	144 件	平成20年度		
伝達麻酔	437 件	平成20年度		
その他の麻酔	0 件	平成20年度		

【医療安全】

医療事故発生件数	3b=6 件	平成20年度	公表基準による医療事故(レベル3b以上)の年間件数 レベル3b:濃厚な処置や治療を要した事例	医療に関する透明性を高めるため、府立5病院では、共通の公表基準にもとづき、医療事故を公表しています
----------	--------	--------	---	---

【その他】

研修医受入れ人数	3 人	平成20年度	各月1日における人数の平均 <管理型臨床研修病院>	病院として、医師の教育に積極的に取り組んでいるかを示しています
レジデント受入れ人数	9 人	平成20年度	各月1日における人数の平均	
指導医数	47 人	平成20年4月現在	※指導医は、臨床研修病院の基準にあるように、5年以上の臨床経験を有するものであって、プライマリケアを中心とした指導を行うことができる経験及び能力を有している者(H20.4月現在届出数)	
医療相談件数	7,151 件	平成20年度	医療相談室等で受けた相談件数(医療相談の専任者が実施する場合を含む)	専門の職員による医療や社会保障制度等に関する相談、支援の体制を示しています
医療相談件数のうち医療ソーシャルワーカーが受けた件数	7,151 件	平成20年度	1援助のべ件数、実人数は555人	
セカンドオピニオン件数	15 件	平成20年度	新規相談件数	肺腫瘍、肺気腫、非感染性呼吸器疾患を対象としています
患者対看護職員数	7対1	平成20年度	看護体制(一般病棟)	看護体制の充実度を示しています
	15対1	平成20年度	看護体制(結核病棟)	
認定看護師数	4 人	平成20年度	日本看護協会が定める認定看護師の有資格者数(H21.3.31現在)	
専門看護師数	4 人	平成20年度	日本看護協会が定める専門看護師の有資格者数(H21.3.31現在)	
継続看護の実施件数	556 件	平成20年度	在宅療養指導料算定患者数	在宅での療養支援に積極的に取り組んでいるかを示しますが、病院の扱う疾患の特徴にも左右されます
大阪府立看護大学大学院非常勤講師	1 人	平成20年度		
実務実習認定薬剤師	4 人	平成20年度	日本病院薬剤師会が定める長期実務実習指導薬剤師の有資格者	薬学部の学生の薬局業務についての実務実習を指導します
院外処方箋率	89.4 %	平成20年度	院外処方箋枚数/外来処方箋枚数	医薬分業に積極的に取り組んでいるかを示しています。ただし、まれな疾患にしか使わない薬を多く処方される病院もあります
診療情報の開示件数	12 件	平成20年度	年間の総開示件数	
治験新規契約件数	8 件	平成20年度	※「治験契約件数」はプロトコル数。また、新規契約と以前からの契約件数(複数年度契約の場合)を合計した数【DPC研究班定義】	臨床試験に積極的に取り組み、新しい治療法、新薬の開発に貢献しているかを示しています
クリニカルパス種類数	56 種	平成20年度		
クリニカルパス適用率	27.3 %	平成20年度	クリニカルパス適用患者数/新入院患者数	医療の標準化に積極的に取り組んでいるかを示しています。ただし、高度な医療を提供する病院では適用が難しい場合も多くあります
放射線治療件数	4,933 件	平成20年度		
CT撮影件数	10,568 件	平成20年度		
MRI撮影件数	1,537 件	平成20年度		
職員のインフルエンザワクチン接種率	79.2 %	平成20年度	自施設でインフルエンザワクチンを接種した職員数(分子)/院内職員対象インフルエンザワクチン接種を開始した月の初日に在職している非常勤職員を含む病院職員数(派遣職員を除く)(分母)	インフルエンザワクチンを接種した職員の割合を示します。
職員の健診受診率	94.4 %	平成20年度	事業所健診の受信者数(分子)/健診対象職員数(4月時点)(分母)	健康診断を受診した職員の割合を示します。

※1 疾病分類別患者数・平均在院日数

	分類	患者数	うち死亡数	平均在院日数
I	感染症及び寄生虫症(A00-B99)	613	45	74.7
II	新生物(C00-D48)	1,560	201	34.6
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)	19	0	12.5
IV	内分泌、栄養および代謝疾患(E00-E90)	21	0	15.9
V	精神および行動の障害(F00-F99)	10	0	13.4
VI	神経系の疾患(G00-G99)	114	2	17.5
VII	眼および付属器の疾患(H00-H59)	224	0	11.6
VIII	耳および乳様突起の疾患(H60-H95)	3	0	7.7
IX	循環系の疾患(I00-I99)	237	17	15.6
X	呼吸系の疾患(J00-J99)	1,816	83	22.9
X I	消化系の疾患(K00-K93)	78	4	17.3
X II	皮膚および皮下組織の疾患(L00-L99)	193	1	26.3
X III	筋骨格系および結合組織の疾患(M00-M99)	97	1	11.0
X IV	尿路生殖系の疾患(N00-N99)	134	1	9.3
X V	妊娠、分娩および産褥(O00-O99)	965	0	7.0
X VI	周産期に発生した主要病態(P00-P96)	438	0	7.2
X VII	先天奇形、変形、および染色体異常(Q00-Q99)	9	0	12.4
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見(R00-R99)	78	2	7.0
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響(S00-T98)	343	0	3.4
X X	傷病および死亡の外因(V01-Y98)	1	0	10.0
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用(Z00-Z99)	156	0	3.2
	合 計	7,109	357	23.7

※2 医科点数表第2表第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術

	区分1に分類される手術	手術件数
ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	0
イ	黄斑下手術等	2
ウ	鼓室形成手術等	0
エ	肺悪性腫瘍手術等	210
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	0

	区分2に分類される手術	手術件数
ア	靭帯断裂形成手術等	0
イ	水頭症手術等	0
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0
エ	尿道形成手術等	0
オ	角膜移植術	0
カ	肝切除術等	1
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	10

	区分3に分類される手術	手術件数
ア	上顎骨形成術等	0
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	0
ウ	バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	0
エ	母指化手術等	0
オ	内反足手術等	0
カ	食道切除再建術等	0
キ	同種腎移植術等	0

	その他の区分に分類される手術	手術件数
4	人工関節置換術	0
5	乳児外科施設基準対象手術	0
6	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	22
7	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む。)及び体外循環を要する手術	0
8	経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	38

※1 手術件数は、平成20年1月から同年12月までの1年間の実績